

ワサビノキ(モリンガ)の葉に脱毛予防や育毛作用の可能性を追及！

～日本薬学会(3/25-28)第143年会で発表～

2023/3/30

正真正銘自分の髪 リーブ 21 (本社：大阪市中央区、代表取締役社長：岡村勝正、以下「リーブ21」)は、研究成果「ワサビノキ※葉抽出物の機能性評価」を、2023年3月25日～28日に開催された日本薬学会（北海道）にて発表を行いました。

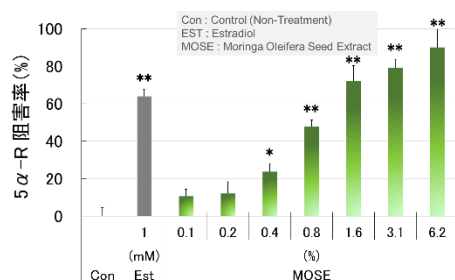
※ ワサビノキ (*Moringa oleifera*) はモリンガと称され、葉・花・莢・種子・根など様々な部位が伝統医学であるアーユルヴェーダとして利用されてきました。また近年では、その栄養価の高さからスーパーフードとして脚光を浴びるだけでなく、CO2の削減にも貢献することからSDGsの観点においても注目を集めています。

リーブ21は、ワサビノキの「葉」において、脱毛の要因となる男性ホルモン活性を阻害する作用や、毛髪の伸長機構を司ると言われる毛乳頭細胞に対する細胞増殖作用を有することを学会発表しました。なお、2021年には同学会にて「ワサビノキ種子抽出物の新規機能探索および化粧品利用への展望」をテーマに、水質浄化作用をはじめとした各種の機能について研究報告を行いました。

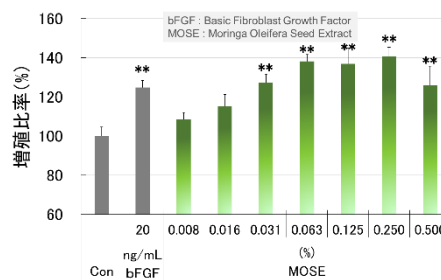
リーブ21は今後も、ワサビノキの種子や葉を配合した製品開発を通して、原料確保のための植林で「グリーンカーボン」という付加価値をトレードオンし、新たな時代を見据えた研究開発に挑戦し続けます。

【発表内容（一部抜粋）】

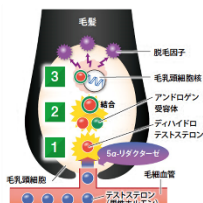
5α-リダクターゼの阻害作用



ヒト頭髪毛乳頭細胞の増殖促進作用



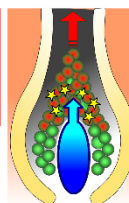
テストステロンは5α-リダクターゼによってディハイドロテストステロンに変換され、より強力なアンドロゲンとして作用するが、男性ホルモンの過剰な活性化は前立腺肥大症や若年性脱毛症の要因となることが懸念される



男性ホルモン活性の各種阻害作用

ワサビノキ葉抽出物に
【脱毛予防】【育毛作用】
が期待できる

毛髪の成長
毛乳頭の活性化
成長因子の分泌
毛母の分裂・分化
毛幹の伸長



毛髪成長のメカニズムは、毛包の司令塔である毛乳頭細胞の活性化に始まり、その後成長因子の分泌および毛母細胞の分裂・分化が起こることによって、毛幹の伸長が起こる

ヒト頭髪毛乳頭細胞の増殖促進

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニックリーブ21 広報部

TEL : 090-4493-1685

FAX : 06-4794-2481

Email : kouhou@reve21.co.jp

【会社概要】

会社名：株式会社 毛髪クリニック リーブ 21

代表取締役社長：岡村勝正

ホームページ <https://www.reve21.co.jp/>

本社所在地：大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21MID タワー22F

設立：1993 年 11 月

資本金：40,000,000 円

主要サービス：頭髪の発毛施術サービス、医療機器の製造販売

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

株式会社 毛髪クリニックリーブ 21 広報部

TEL : 090-4493-1685 FAX : 06-4794-2481 Email : kouhou@reve21.co.jp